



▲パッケージにもこだわりがいっぱい

香取村に昨年オープンした「大山ものづくり学校」(運営:山陰sacca)が、このたび「かりんとう」を販売することになり、1月9日(水)役場大山支所で試食会がありました。

大山町産の小麦や牛乳を使い、ヘルシーで素材の良さを感じられるよう工夫がされています。

試食会には約20人が参加し、アンケート用紙に熱心に意見や感想を書き込んでいました。

「大山のかりんとう」は、道の駅大山恵みの里でも販売されます。

「大山のかりんとう」できました

12月12日(水)、田中にある介護老人保健施設「はまなす」(岸田芳幸施設長)で、



▲チェアの特徴を説明する稲田社長(左)

マツサージチェアの寄贈がありました

株式会社ファミリー(稲田二千武社長)の創業50周年を記念した地域貢献の一環として、大山町にマツサージチェア10台が寄贈されました。

寄贈を受けた大山町では、

マツサージチェアを役立てて

もらうため、町内8カ所の福祉施設と2カ所の公共施設に

設置していただくことになりました。

12月12日(水)、田中にある介護老人保健施設「はまなす」(岸田芳幸施設長)で、

貸与式が行われ、寄贈した稲田社長は「マツサージは血行をよくして疲労回復に効果がある。みなさんの健康維持に利用してもらえたら」と話されました。

受賞おめでとうございます



▶高見明男さん

30年勤続スポーツ推進委員表彰

11月29日、長崎市で開催された「第53回全国スポーツ推進委員研究協議会」において、高見明男さん(塩津)が

公益社団法人 全国スポーツ推進委員連合より「30年勤続スポーツ推進委員」として表彰されました。

高見さんは、長らく中山地区において野球、バレーボール、綱引き等の指導者として町内のスポーツ振興に貢献さ

れ、現在もソフトバレーボールなどのニュースポーツの普及に、積極的に取り組んでおられます。

今後、町内の社会体育の振興にご尽力いただくとともに、ひきつづきのご活躍を期待しています。

無病息災を願って「とんどさん」

1月10日(木)、大山きやらぼく保育園で「とんどさん」が行われました。

「とんどさん」には、年中から年長児クラスに通う子どもたちの祖父母約50人も参加し、準備の段階から大活躍でした。

とんどさんを囲み、子どもたちが、おじいさんやおばあさんたちと一緒に歌を歌ったあと、とんどさんに火がつけ

られました。正月飾りや子どもたちの書初めも炎の中で灰になり、天高く舞い上がりました。

おき火になったところで、みかんやおもちなどが一緒に焼かれ、子どもたちは、おじいさん、おばあさんたちと「上手に焼けた」「食べるよ風邪をひかないよ」などと会話を楽しみながら、おいしそうに食べました。

とんどさんを囲み、子どもたちが、おじいさんやおばあさんたちと一緒に歌を歌ったあと、とんどさんに火がつけ

られました。正月飾りや子どもたちの書初めも炎の中で灰になり、天高く舞い上がりました。



▶とんどさんの火を囲み、無病息災を願いました

